

サッカーイベント「種子島BIG VISION」

サッカー・バレーの元日本代表が種子島でふれあい



10月21日に、中種子陸上競技場において、第2回「種子島BIG VISION」が開催されました。

地元企業の(株)Vintageが企画し、サッカー元日本代表の福西崇史さんの協力により、14人のサッカー選手と2人のバレー選手が集結。午前は、島内の小中学生を対象にしたサッカー教室とバレー教室が行われ、トップレベルの技術に子どもたちは目を輝かせながら練習に励みました。午後からは、地元の高校生、社会人チームとサッカーのエキシビジョンマッチがあり、元日本代表との白熱したプレーが繰り広げられました。試合の後には音楽ライブも行われ、笑顔と歓声に沸く姿がありました。

また、前日の20日は、熊野海岸の清掃活動を行い、多くのごみを収集する選手たちの姿がありました。



音楽ライブ スペシャルゲスト「HAN-KUN」



海岸清掃



地域おこし協力隊通信 (No. 82)

目の前のことを大切に…

11月4日に、第44回中種子町農林漁業祭が晴天の下開催されました。コロナ禍を経て4年ぶりの通常開催ということもあって、多くの人々で賑わっており、会場は活気で溢れていました。本イベントは町の農林水産業の振興をはかり、豊かであぐもりのある中種子町を築くことをめざして開催される、今年で44回目の開催となる歴史あるイベントですが、当然私にとっては初めての経験です。事前に町の行事の中でも多くの人を集めるイベントであるということは聞いていましたが、いざ即売会開始時には多くの参加者が集まり、それぞれお目当てのテントを目指して行列を作る様子を目にして驚きました。まるでそれはテーマパークのアトラクションに並ぶ列そのものであり、私が種子島に来てから見た人の列としてはダントツで長い列でした。当日は即売会の他に農業功労者の表彰や児童・生徒の作品展示、軽音楽同好会テイストオブハニーによる演奏、中種子火

縄銃保存会による演武試射、無料試食、抽選会など大人から子供まで楽しめる内容盛りだくさんのイベントとなり、大盛況のうちを終了しました。

さて、このようなイベントが今年は各地で開催され、毎週末どこかへ出かける日々が続いていましたが、それもそろそろ一段落というところでしょうか。この数年はコロナ禍の影響で伝統行事などの活動も中止を余儀なくされていたかと思えます。しかし、今年はそのような活動も本格的に再開となっているものが多く、準備の段階から島民の方々の想いやエネルギーを強く感じました。私にとっては島のすべての行事が初体験ですが、これまでの伝統を踏まえて今年再開することができた行事、そうはならなかったものどもちらもあることでしょう。この数年という期間を経て、益々今目の前にあるものに有難みを感じながら、その一つ一つを大切にしていきたいと思えました。

大山 広太郎